

令和6年度 前期授業評価アンケート 教科報告書

北海道網走南ヶ丘高等学校

1. 概要

本報告書は、令和6年7月に全年次を対象として実施した、授業改善を目的とする授業評価アンケートの結果に基づき、各教科で行った会議の内容をまとめたものになります。

なお、詳細なアンケート結果については公表しかねますので、ご了承ください。

2. 各教科における共通項目

(1)授業に関してどのような課題が明らかになったか。

(2)アンケート結果を役立てることで、授業のどのような点を変えたり見直したりする予定なのか。

令和6年度前期授業評価アンケート

	Q.授業改善についてどのような課題が明らかになりましたか	Q.アンケート結果を役立てることで、授業のどのような点を変えたり見直したりする予定ですか。
国語	調査結果からは、授業内のICT活用が不十分と見られる。また、「学習に向かう姿勢や努力は成績に反映されていると思いますか」の項目についての回答で「そう思う」が概ね6割と少なく、考査だけではなく、授業内の努力を評価する取組、展開が必要だと考える。	必要に応じて、ICTを活用する授業展開を考える予定である。また、授業内の課題を成績に入れる取組も計画する予定である。
数学	習熟度別に授業を行っていることもあり、型によって回答の差が出ました。Ⅲ型のように少人数で行ってればきめ細かな対応ができるが幅広い学力層のⅡ型では授業内容の精選などで苦慮しているところです。またどの年次も「書く力」を今以上に身に付ける必要があると実感しており、数学だけではなく、他教科とも連携しながら伸ばしていかななくてはならないと感じています。	数学におけるICTは単純に積極的に活用することが理解につながるものではないので、どのように効果を発揮できるのかを見据えた上で必要に応じた活用が必要と考えます。またICTが「書く力」を妨げないように工夫をしていきたいです。
理科	生徒と教員の考えるICTの活用に隔たりがあることを感じる。特に研究の科目での効果的な活用方法には課題がある。	理科教員間でお互いのICT活用状況を共有（情報共有・授業見学など）し、理科におけるICTの効果的な取り入れ方について模索する。実験室にLAN環境が導入された場合の効果的な活用方法について研究する。理科における話し合い活動について検討する。
地歴公民	・授業の進捗の状況や受験対策などの要因から授業ペア、グループワークの取り組みに十分な時間を確保することができない状況にある。	ペア、グループワークに限らず生徒が主体的に取り組む授業を増やせるよう取り組みたい。また、ICTの効果的な取り入れ方について模索していきたい。
英語	・ペア、グループワークの意図がうまく伝わっていなかったため、生徒から個別学習でやりたいとの要望があった。 ・「論表の小テストの対策問題がほしい」との要望あり（2B）	・1年次：中学校での既習事項を復習しているが、こちらが想定していた以上に定着していないので、時間がかかるかもしれないが、丁寧に説明を行ってから活用させることが必要だと感じた。 3年次：もう一度全体に、グループ、ペアワークの意図やねらいを周知する。
商業	・授業内容から個人的に習得することを大部分としているためペア、グループワークの可能性を模索したい。	・評価に反映されていないと感じている生徒が少数ではあるが存在しているので、実感できる授業内容と評価に努める。
保健体育	体育…しっかりとその種目での目標（技術の差も考え）や毎回授業の要点やポイントを詳細に伝え、生徒が主体的に取り組めるような環境を作る。 保健…生きていく上で必要な教科であるので、パワーポイントや動画、グループワークなど、生徒主体で考えさせる授業。	体育…目標をいくつか設定し、自分のできそうな部分を目標設定することと、要点やポイントを細かく伝えることで、生徒が主体的に目標を持って積極的に取り組める。 保健…教員主体で進める部分も重要ですが、グループワークなどを利用し、1人1人の考えや意見をお互いに言えて、周りの意見を聞いて、感じたり、考えたりする場が必要と考える。
芸術	○書道Ⅰ 積極的にICTを活用した授業作りを行っている。生徒からの反応も概ね良好である。 ○音楽Ⅰ 単元の振り返りや授業の調べ学習、作品制作などでICTを活用している。評価の中で、ホワイトボードの板書に見にくさ、授業の満足度が低い生徒も一部見受けられた。	より主体的な活動ができるような教材選択、授業研究・改善が必要であると感じた。面白いだけが授業ではないが、楽しさを感じるのが興味関心の第一歩であると感じる。
家庭	・ICT活用がやや不十分と感じている。「学習内容がよくわかった」と答えた生徒は概ね良好だが、わからないと答えた生徒も一定数いる。また、活動する授業が少ないと感じている生徒も若干多い。	生徒が行動する授業を組み入れ、主体的に取り組む機会を増やす。同時に、ICTも適切に活用し、調べ学習以外にも取り入れていく。